

The Philosophy of Nagahama Ceremony

人生最後の「ありがとう」のために。

地域に愛される会社でありたい。
これは今も昔も変わらない、長浜セレモニーの根幹となる想いです。

私たちが目指すのは、
お葬式を執り行なう“業者”としてのお付き合いではありません。
お葬式だけでなく、地域の催しでも皆様から必要とされるように。
長浜セレモニーに関わるすべての方から
「おかげさまで……ありがとう」と言っていたるように。

ご家族・地域の皆様の「気持ち」に寄り添う、
ライフパートナーでありたいと思っています。

100人いれば100通りの人生があるからこそ、
どれもが「世界に一つだけのご葬儀」に。

お集まりいただいたすべての方が、
故人様の思い出を分かち合い、生きた証を心に刻めるよう、
一人ひとりの想いを形にしたお葬式を実現いたします。

手間暇を惜しまず人生最後の「ありがとう」をお手伝いを。
地域でのご縁を大切に、
社員一同「こころ」を込めてご奉仕させていただきます。

心のこもったあたたかいお葬式を届ける



長浜セレモニー株式会社
サポート部

力久 梨紗

想いを伝える、とらふこと。



アットホームな葬儀社

長浜セレモニー 家族葬の♡ウィズユー








心のこもったあたたかいお葬式を届ける

私たちは常にお客様に満足いただける企業として感謝の「こころ」でご奉仕します
私たちは常に「こころ」から愛される企業として地域社会に貢献します
私たちは常に尊敬と愛情と信頼で結ばれ「こころ」をひとつにして協力の精神で社運の発展に努めます

お客様に安心と満足をご提供し、地域に愛される会社でありたい

- 地域の事情に精通した 地域密着の葬儀社
- お葬式の費用を1円単位でお見積り 明瞭価格で安心のプラン
- ご縁を大切に 心をこめたご提案
- 地域密着の葬儀社だからこそできる 充実のアフターサポート
- 葬儀社格付 (JECIA) 最高評価5つ星を獲得
- たくさんのありがとうをいただいた お客様の声

■式場一覧

<p>家族葬の♡ウィズユー-高月</p>  <p>滋賀県長浜市高月町 柏原396-1 パワーズさん斜め向かい</p>	 <p>長浜市</p>	<p>長浜式場</p>  <p>滋賀県長浜市加納町 341-5 長浜1.Cより車で3分</p>
<p>家族葬の♡ウィズユー-宮前</p>  <p>滋賀県長浜市宮前町6-4 旧国道8号線沿い</p>	<p>米原市</p>	<p>家族葬の♡ウィズユー-近江</p>  <p>滋賀県米原市顔戸632-4 顔戸南交差点角</p>

葬儀のことなら何でもお気軽にお問い合わせください

☎ 0120-09-8395 通話無料 365日24時間受付

会社名 長浜セレモニー株式会社
本社所在地 〒526-0804 滋賀県長浜市加納町341番地5
TEL 0749-64-3415 FAX 0749-64-3416
代表者 代表取締役 松村隆雄
設立 2001年7月

ホームページはこちらから▶▶▶
<https://nagahama-ceremony.com/>



Personal Brand Book produced by つむぎ株式会社 <https://tsumugi-mirai.jp/>

制作：つむぎ株式会社 営業：前田 亮 編集：小泉 京花 紡ぎ手（執筆）：合田 スイ 撮影：西本 友 デザイン：造田 健



想いを伝える、ということ。

これまでの人生、良いときもあれば、悪いときもありました。それは誰だって同じ。平坦な人生などなく、幸せな事があれば辛い出来事に直面する事もあると思います。私自身、辛い出来事につかり「自分の人生の在り方」が分からなくなったときがありました。

そんなときに支えてくれたのは、家族でした。その時を思い返すと「本当にありがとう」と、感謝の気持ちが溢れてきます。改めて自分はどうかを考えたとき、私は「人の為に在りたい」と考えるようになりました。

周りからもらった愛情を、決して独り占めすることなく、誰かの為になる生き方をしたい。感謝の気持ちを人に渡すということが、人生の中でとても重要なことだと思っただけです。

そう思った矢先、偶然目にとまった長浜セレモニー。

経営理念として掲げていた「仲間に感謝 ころろに笑顔」という言葉に惹かれ、選考へ進むことに。滲み出る社長の人柄と穏やかな社風に共鳴し、サポート課として入社を決めました。現在は、葬儀のお手伝いや故人様へのメイク・お着替えなどに携わっています。

若い頃から私は美容やメイクが好きで、美容関係の資格を持っていたのですが、それをずっと活かせずにいました。

今、故人様にメイクをして差し上げる中で、私の経験に無駄なことはなかったんだと思えます。私が施したメイクで「遺族様が「綺麗になった」とあたたかな眼差しで故人様を見つめ喜んでくださった時は、私もあたたかな気持ちになります。本当に良かったと心から感じるのです。

思えば、遠回りな人生だったのかもしれない。しかし、私が選んだ選択の全てが、今に繋がっています。良いことも悪いことも、何一つとして無駄なことはなかったのです。

人生の最期には、十人十色のカタチや価値観があると思います。家族には涙だけでなく「良い人生だったね」と明るく、そして温かく讃え見送ってもらいたい……。最期まで家族や周りの人々に想われることが、人生の幸せそのもので、人生の集大成なのではないか。そんなふうに私は思うのです。

葬儀の渦中は、胸が張り裂ける思いであるはずですが。

しかし、胸に溜まった想いを伝え、故人様に感謝とありがとうの言葉の花束を贈る。その先に、記憶に残り続ける悔いのないお葬式があるのではないのでしょうか。

どんなことがあっても、今に感謝し、今を丁寧に紡ぐ。その先にはきつと、今の私の想像を超えた私が待っている、と信じて。



The Philosophy of Nagahama Ceremony

人生最後の「ありがとう」のために。

Risa Rikihisa